

福島6 AI等を用いた水需要予測

求める技術：①

1 課題を抱える業務の内容

これまで経験したことのない長期人口減少社会において、使用水量の減少が懸念されております。今後の収入見込みの把握や、各種計画の策定等に役立てるため、自前で水需要予測を行っています。

2 課題の詳細

過去10年間の実績を用いてトレンド式により需要水量の予測を行っていますが、これまでの予測方法で適切な答えが出るのか疑問があります。（コーホート要因法を用いた予測でよいか疑問である。）

3 こんな技術を求めています！

- AIが、過去のデータ抽出や最適な予測式の選定を行うなど、未来予測による水需要予測及び考察を行う技術

4 技術の導入により代替が期待される業務

水需要予測業務、年間受水量申込業務

5 事業規模・業務量

- 水需要予測業務
作業頻度：1回／年、作業時間：50時間以上／回、費用：0円／年
- 年間受水量申込業務
作業頻度：1回／年、作業時間：10時間以上／回、費用：0円／年